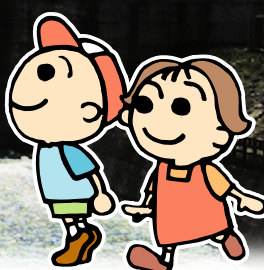




2004.4.15
三国川ダム管理所発行



冬から春へ...



さぐくん りっちゃん

長かった冬も終わり三国川ダムにも春がやって来ました。

まもなくダムに貯まった雪解け水が、写真のように非常用洪水吐から「サーッ」という音とともに流れ出ることでしょう。

雪解けの進行にもよりますが、毎年4月の末から5月の初めまでのほんの少しの期間見るができます。ぜひこの雄壮な流れをお見逃しなく。「カシャ！」

なお、この雄壮な流れを見せてくれる「非常用洪水吐」ですが、夏の洪水が起こりやすい期間には名前のとおり、非常用に使われるダムにとっては重要な施設なのです。「春は雄壮な流れを見せてくれるけど、夏は非常用って・・・???」

この紙面上でご説明したいのですが、長くなってしまいますので、一度ダムへお出かけ下さい。

監査廊（点検用地下トンネル）の見学と併せてご案内いたします。（監査廊の開放日は次ページです。）

「もっと楽しく、もっと元気に、心のふるさと水源郷」

「三国川ダム水源地域ビジョン」策定 いよいよ実行へ

去る2月、検討を進めていた「三国川ダム水源地域ビジョン」がようやく策定されました。

地域の方々には1月に各戸にお配りしたリーフレット「三国川ダム水源地域ビジョンのご案内」でもお知らせしていますが、再度ここでその概要についてお伝えしたいと思います。

・水源地域ビジョンとは？

三国川ダムと近隣地域で構成される「水源地域としての魚沼」の将来に向けて、地域の振興と活性化を図ることを目的とした行動計画のことをいいます。

・計画の内容は？

地域のみなさんが主役となるビジョンですが、みなさんの思いがひとつとなるよう、テーマとしてタイトルにある「もっと楽しく、もっと元気に～」を決めました。

また、具体的な活動内容としては、次の3つの視点から併せて9つの活動を計画しました。

- ・地域にある様々な資源の新たな活用を考える活動
- ・地域の持続的な発展性を高める活動
- ・魚沼の人々が持つ“人間力”を生かす活動



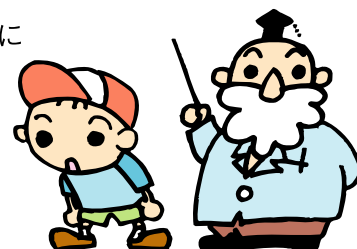
・どのように実行していくの？

今までのこのような計画は、どちらかというと私たち「行政」が前面に出すぎて、なかなか実行が伴わないと言うことが見受けられました。

今回の三国川ダム水源地域ビジョンでは、地域の有志の方々が「地域主体の推進組織」の立ち上げに尽力され、既に組織設立にむけて活動を始められています。

三国川ダム管理所としても「推進組織」とともに引き続き地域活性化に向けて支援を続けていきたいと思っています。

※「三国川ダム水源地域ビジョン」の詳細な内容については、ホームページ、パンフレットにてご案内できるよう現在準備中です。今しばらくお待ちください。



はかせ
さぐり博士

監査廊開放日のご案内

本年度も下記の着色日にダム点検用トンネル「監査廊」を開放し、職員がご案内いたします。ぜひ一度ご覧下さい。

5月

日	月	火	水	木	金	土
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29
30	31					

6月

日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30			

7月

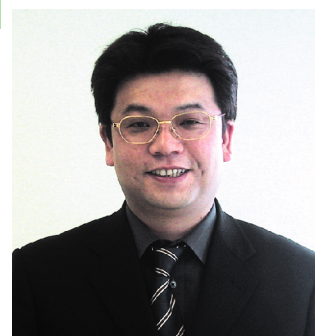
日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	31

8月

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30	31				

インタビュー

今回は、「三国川ダム水源地ビジョン」策定委員でもあり、ビジョンの実施に向けて精力的に活動されている(社)雪国青年会議所 石坂 浩さんにお話を伺いました。



六日町大字余川
石坂 浩さん

Q：「三国川ダム水源地ビジョン」を実行するため、地域主体の推進組織を立ち上げられ、既に組織的に活動を始められているとお伺いしておりますが？

石坂さん： 現在「**しゃくなげ湖畔を楽しむ会**」を設立し活動を展開するための準備を行っており、実際の活動はこれからです。ダムに訪れ、見て触れて体感してもらい、地域の方々が活用できる「三国川ダム」を目指します。もちろん、今回策定された「三国川ダム水源地ビジョン」も実行をしていきたいと思います。しかし、インフラ整備の問題や資金的な問題もありますので、まずはできることから始めます。

Q：「しゃくなげ湖畔・・・」というのは三国川ダムのダム湖の名称から名付けられたのですね。どのような会にしたいとお考えですか？

石坂さん： とにかく楽しい会にしたいと思います。ただし、地域の方々にサービスをする会ではなく、地域の方々と一緒になって活動し、その中から喜びを感じられる会にしたいと思います。

Q：会員の方々が積極的に参加し、活動する会にしたいのですね。入会の募集はどのようにしますか？

石坂さん： 「しゃくなげ湖畔を楽しむ会」では、今後各種イベントを実施する予定です。会員はイベントに参加された方を中心^{つの}に募りたいと思っています。年齢性別^{ねんれい}に関係なく関心のある方で、一緒に活動できる方ならどなたでも参加できます。地域の方々だけでなく、県内外の観光客の方も呼びかけていくつもりです。

Q：「しゃくなげ湖畔を楽しむ会」での将来の抱負を聞かせて下さい。

石坂さん： 「三国川ダム」を本格的な観光資源として、収益を考えて活動するのはインフラの整備や資金の問題を考えると限界があると思います。そこで、ダム周辺にある施設を活用し、地域のために活動されている様々な団体の方々^{れんけい}と連携して、コミュニティーと情報発信の場にしていきたいと思います。特に地域活動をされている団体の皆さんは、情報発信の手段が少ないのが現状です。それらを将来的にサポートできる場所になれば、おのずと人が集まり、交流が生まれます。そしてその交流の中から人が育ち、新しい地域の価値や財産が生まれると思います。始まったばかりですが、皆様のご協力をお願い致します。

9月

日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30		

10月

日	月	火	水	木	金	土
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24 31	25	26	27	28	29	30

11月

日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30				

生まれ変わった「電腦三国川口」

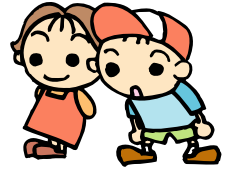


バイ菌メールやクラッカーの嫌がらせにもめげず、少しでも多くの方に三国川ダムを知っていただく^{けいぞく}と継続してきました「三国川ダム ホームページ」。

さらなる操作性の向上と内容の充実を図り、いよいよ2004年4月 リニューアル。

どの辺りが変わったかって？それは御自分で確かめてみてください。

<http://www.hrr.mlit.go.jp/saguri/>



働き者の「堤内排水ポンプ」13年目を機に リニューアルしてパワーUP ↑

春夏秋冬のべつ幕なし、年中無休24時間息つく間もなくジメジメした地下室で文句も言わずにダムの中に溜まった水を吸って吸って吸って吐き出す吐き出す吐き出す…。

地味で目立たず陽の当たるところに出たときは役目を終えたときだけ、コイツが止まるとダムの中は水浸しになってしまうという縁の下^{きかいせつび}の力持ち的機械設備…その名は「堤内排水ポンプ」。

何であれ十年以上も経てば何処かにガタがくるように、三国川ダムも竣工から十数年、機械設備も大がかりな整備を必要とし始めている中、働きづめの堤内排水ポンプさんは体力の限界からか最近、音^おを上げる（排水しきれないで警報が鳴る）ことが多かったため、今冬、惜しまれつつも引退し、後進にその役目を譲ることにしました。（号泣）

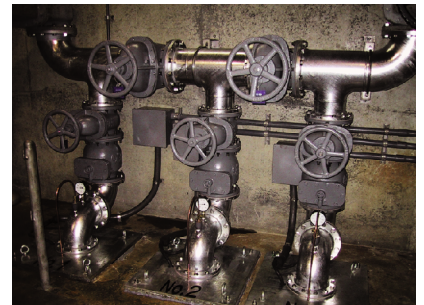
新たにお役に付く排水ポンプとは水害の虞^{おそれ}が比較的少ない冬場に交代し、その能力たるは現行比5割増、これでもかというくらい吐きまくってダムが水浸しになるのを防ぎます。



ところどころ塗装が剥離し、サビが浮いている旧ポンプ。そこはかたく疲れを感じさせます。



別れを惜しむか涙雨。ダム職員も敬意を表し、黙祷。



工事完了。ギラギラメッキが活躍を期待させます。（ポンプ本体は水の中だから分かんないや）

お知らせ シャくなげ湖新緑ウォーク5月30日(日)開催予定!!

申込方法等詳細は、別途お知らせします。

編集後記

新年度もいよいよスタートとなりましたが、皆様いかがお過ごしでしょうか？
長かった冬も終わり日増しに春らしくなり、ダム周辺の山々は残雪と新緑のコントラストの素晴らしさ…、草木は芽吹き、鳥はさえずり新しい生命の躍動^{どう}が感じられる今日この頃となりました。

三国川ダムの広報誌「ダムっ湖」もうぶ声をあげてようやく満一歳を迎えることができました。これからも、さらに内容の充実した誌面づくりを目指して行きたいと考えておりますので、引き続き皆様からのご意見・ご感想をお待ちしています。
(編集部一同)

◆編集・発行◆

国土交通省北陸地方整備局
三国川ダム管理所

〒949-6741

新潟県南魚沼郡六日町大字清水瀬686-59

TEL (025) 774-3015

FAX (025) 774-3092

<http://www.hrr.mlit.go.jp/saguri/>

